

コミネット宝木 地域コミュニティ計画

やすらぎ 住みよい 元気なまち 宝木



平成22年2月

宝木地区まちづくり協議会

目次

「コミネット宝木」まちづくり策定の経過と位置づけ	2
課題項目別一覧	3
地域コミュニティ計画書の見方・組織図	4
「地域コミュニティ計画」(Ⅱ生活環境について)	5
「地域コミュニティ計画」(Ⅲ自然環境について)	6
「地域コミュニティ計画」(Ⅳ子どもを育む環境について)	7
「地域コミュニティ計画」(Ⅵ-1活性化について)	8
「地域コミュニティ計画」(Ⅵ-2活性化について)	9
宝木地区まちづくり協議会構成員名簿	10

「コミネット宝木」まちづくり策定の経過と位置づけ

平成21年5月実施のアンケートは、回収率85.5%の数字からも宝木地区住民の意見が均等に反映され、ほぼ地区住民の総意と考える事ができます。

また、中間報告会・地区住民の集いの意見を参考に、今後のまちづくり計画に反映するものとします。

設問Ⅰ 年齢構成について

回答者の年齢比率から高齢化が深刻であり、若い世代の転出、それに伴い出生率の低下は、宝木地区の少子高齢化に拍車が掛かっている。

設問Ⅱ 生活環境について

子どもや孫たちに対し、「いずれは宝木地区に住んでもらいたい」と望んでいることから、子どもや孫たちが宝木地区に対して魅力を感じる事が必要であり、さまざまな体験により、地区の良さを感じ、愛着を醸成させたい。

設問Ⅲ 自然環境について

「放棄田」や「獣害」が多く、環境保全の大切さが問われるが、それが問題であるという意識がないように思える。地区の現状を知り、豊かな自然を後世に残す努力が必要である。

設問Ⅳ 子どもを育む環境について

地区内の誰もが、顔見知りである面識社会を確立し、安心感を与え、地域で子どもを育てる環境づくりが求められる。

設問Ⅴ 防犯防災対策について

高齢者を抱える家族にとって昼間の状況が不安であり、見守り活動や、援護体制の構築が解消に繋がり、そのことが高齢者自身の不安解消にもなる。

日頃の訓練や、隣近所の連携が必要と思える。

設問Ⅵ 活性化について

地区内行事は、統合し、効率・効果的に実施するよう検討し、また、伝統行事は再編して保存する工夫が求められている。

宝木地区まちづくり協議会の浸透度は非常に低く、広報紙の掲載内容や配布方法の工夫が必要である。

これらのことを踏まえ、地域コミュニティ計画の骨子となる資料1の項目別一覧を作成しました。

課題項目別一覧

資料1

地域で考えられる課題	課題解決のための目標
日用品の買い物が不便	店舗の開設 移動販売車 スーパーへ注文し宅配サービス
宝木駅へのアクセスが不便	循環バスの順路見直し
若い人の集う機会がない	同窓会の開催 青年団の育成
部落内の一体感がない	面識社会の確立 区長外に担当者の設置 コミュニティの充実強化
自然の荒廃・環境整備がなされていない	河内川の土手に桜を植樹 水尻池美化・水路の景観保存 河内川土手にコスモス・ひまわりを植える 集落一斉草刈り 河内川を利用した遊び・イベント 宮吉城址憩いの広場
農林業へ対する意識の希薄	自然環境の維持
子どもが外で遊ばない 遊び場がない	河内川土手を利用したサイクリングコース 自然に触れ合う場づくり
防犯防災	子どもの見守り 自主防災会立ち上げ 防災訓練 土石流区域の安全対策 マップづくり（利用） 独居老人等の見守り組織づくり
認知症の増加	地域で支え合う研修 病気への理解を深める
宝木で一生を過ごす循環型社会の構築	若者が定住し、暮らせるまちづくり
若い人の地域活動の参加が少ない	通学時間に合わせた啓発ピラ配り
コミネットが周知されていない	地道な啓発活動 たよりの発行・ホームページ 対面活動による口コミ

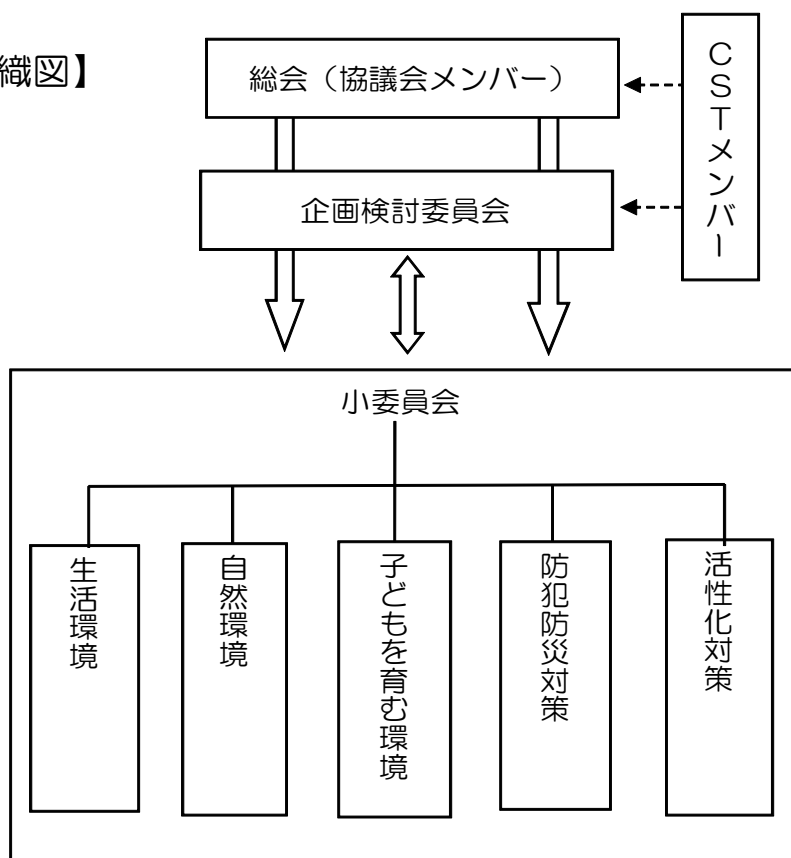
資料1を基に、コミネット宝木の周知度、母体力を考慮しつつ、次に挙げる「地域コミュニティ計画」(1)～(5)を作成し、地域の課題解決への取り組みとします。

ただし、事業は毎年評価を行い修正、方向調整をおこない、今後発生した新たな課題に取り組むと共に、他団体の活動は必要に応じ、相互の連携協力により実施し、地域ぐるみへと拡充します。

地域コミュニティ計画書の見方

重要度		緊急度	優先順位	目安		役割分担	
AAA	最重要	○印 緊急	1より 優先	短期	5年以内	協働	地域行政
AA	重要			中期	10年以内	地域	地域中心
A	やや重要			長期	10年以上	行政	行政中心

【組織図】



「地域コミュニティ計画」(Ⅱ生活環境)

目標	高齢化が進むなか、住みよい宝木をめざして		実施者 宝木地区まちづくり協議会				
	「食の砂漠化」の中、生活必需品の買い物が出来る体制づくり						
事業案	事業ごとの目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間		役割分担
					目安	実施年度	
空き家を利用した店舗+サロンの開設	地区に合った方法の検討	AAA	○	1	中期	H22	協働
移動販売車		AAA	○	1	中期	H22	協働
スーパー等との連携による宅配サービス		AAA	○	1	中期	H22	地域
注釈	食の砂漠化…地域に生鮮食料品の店がなく、高齢者などが健康的な食生活を送れないという危機に瀕している状態 サロン …憩いの場						

「地域コミュニティ計画」(Ⅲ自然環境)

事業案	事業ごとの目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間		役割分担
					目安	実施年度	
桜並木の整備	河川法に基づいた許可の取得 桜以外の樹木についても検討調査	AAA	○	3	長期	H22	協働
末用川・河内川・水尻池土手、水路等の景観保存	地区内一斉清掃	AA	○	1	中期	H23	協働
花の種まき	ひまわり、コスモスで美しい地区づくり	AA	○	2	短期	H23	協働

豊かな自然環境を後世に残すために

河内川、水尻池を中心とした美化運動

実施者 宝木地区まちづくり協議会

「地域コミュニティ計画」(Ⅳ子どもを育む環境)

目標	部落内の一体感、部落間の連帯意識の高揚をめざして		実施者 宝木地区まちづくり協議会				
	安心して子どもを育てる環境づくり、面識社会の確立						
事業案	事業ごとの目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間		役割分担
					目安	実施年度	
宝木っ子まつり	集落子ども会、地区育成部連携	AAA	○	1	短期	H2 1	地域
貝殻節まつり	練習をつうじ親睦を図る	AAA	○	1	短期	H2 1	地域
地区文化祭	創り上げる喜びを共鳴	AAA	○	1	短期	H2 1	地域
子ども見守りパトロール	声かけ活動	AAA	○	1	短期	H2 1	地域

「地域コミュニティ計画」(VI-1 活性化)

目標	地域の良さを感じ、愛着を醸成させるために		実施者 宝木地区まちづくり協議会				
	若人の地域活動、集いの場をめざして						
事業案	事業ごとの目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間		役割分担
					目安	実施年度	
通学時の啓発ビラ配り	高校生の地域参加	AAA	○	1	短期	H22	地域
同窓会の開催	平成元年生まれより実施対象者による実行委員会	AAA	○	2	短期	H22	地域
青年団の育成	各集落ごとに結成	AA		3	中期	H23	地域

「地域コミュニティ計画」(VI-2 活性化)

目標	地区公民館、地区ふれあいのまちづくり、地区まちづくり協議会の明確化		実施者 宝木地区まちづくり協議会				
	地道な啓発活動によるコミネットの周知						
事業案	事業ごとの目標案	重要度	緊急度	優先順位	実施期間		役割分担
					目安	実施年度	
たよりの発行	読者の増加、見やすい紙面づくり	AAA	○	1	短期	H2 1	地域
ホームページによる広報活動	存在の啓発	AAA		1	短期	H2 1	地域
対面活動による口コミ	住民と密着した活動	AAA		2	短期	H2 2	地域
区長外の担当者の配置	人材の育成	A		2	中期	H2 2	地域

宝木地区まちづくり協議会委員名簿

NO	区 分		代表者名	NO	区 分		代表者名	
1	区 長	上光	岡 田 和 彦	25	会 長 推 薦	宝木商店会	西 田 哲 夫	
2		下光元	山 本 正 博	26		女性代表 (副会長)	山本寿美子	
3		夏ヶ谷	藤 本 武 夫	27		有識者	秋 山 智 博	
4		常松	谷 川 寿 一	28		有識者	水 田 允	
5		富吉	吉 村 康 義	29	地 区 公 民 館 運 営 委 員 (区 長 外)	上光公民館長	上 根 孝 浩	
6		宝木 (副会長)	吉 村 文 夫	30		下光元公民館長	北 村 正 雄	
7		水尻	玉 置 純 二	31		常松公民館長	谷 口 豊 弘	
8		奥沢見	竹 本 均	32		宝木公民館長	三 村 昌 和	
9	ふれあいのまちづくり協議会	塩 静 雄	33	市社会教育委員		本 部 享 司		
10	上光老人クラブ	岡 田 寿 晃	34	元市社会教育委員		奥 田 志 磨 子		
11	みつば会老人クラブ	吉 田 宏	35	有識者		小 宮 秋 野		
12	宝木古町老友会	田 中 一 幸	36	有識者		吉村あけみ		
13	宝木新町老友会	地 原 輝 雄	37	宝木小学校長		能 籾 善 彦		
14	奥沢見水尻老友会	澤 本 作 衛	38	有識者 (会 長)		水 石 裕 士		
15	健康づくり推進員 (副会長)	浜 田 秀 夫	39	有識者		米 田 克 彦		
16	各 種 団 体	食生活改善普及員	池 澤 愛 子	40	地 区 公 民 館 専 門 部 代 表	文化部	亀 谷 寛 己	
17		民生児童委員	河 口 重 忠	41		健康部	本 部 澄	
18		体育会	北 村 公	42		広報部	淀 克 史	
19		宝木非行防止の会	幸 村 憲 一	43		青少年育成部	野間紀代美	
20		河内川を考える会	村 上 捷 夫	44		女性部	森 本 幸 子	
21		宝木校区人推協	岡 田 寿 晃	45		地区公民館	館長 (副会長)	吉 田 亨
22		宝木小学校育成会	山 本 光 命	46		職員	藤原富美子	
23		宝木小見守り隊	吉 村 勝 則					
24		日赤奉仕団	藤本かずこ					
		不法投棄監視員	—					
	自主防災会 (自警団)	—						
	安全協会	—						

市職員コミュニティ支援チーム

リーダー 吉村康義
サブリーダー 岡本幸子
スタッフ 山本京子

役員
企画検討委員